

マミワタ

TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

今回は、日本で紹介される機会の少ないナイジェリアの映画、『マミワタ』を上映します。

作品の鑑賞と解説を通じ、西・中部アフリカやアフリカ系ディアスポラの宗教文化と、近年国際的に評価を高めるナイジェリア映画の表現に触れます。



上映日時 2026年

12月9日

17:50上映開始 (開場17:30, 終了予定20:50) 【水】

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分)

プログラム

映画『マミワタ』本編上映 (107分)

上映後解説／トーク

中村 博一 (文教大学)

村津 蘭 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

司会 緒方 しらべ (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

共催 東京外国語大学 TUFS Cinema
東京外国語大学フィールドサイエンスコモンズ (TUFiSCo)
現代アフリカ地域研究センター

協力 映画サークル「コーンビーム」
東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録者 ▶▶
優先



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc261209form/>

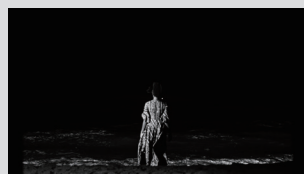
※事前登録で優先入場をご利用いただけます。上記のQRコードから事前にご登録のうえ、当日は受付の際、事前登録完了メールをご提示ください。なお、事前登録はWeb限定となります。

【お問い合わせ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441
平日9:00-17:00 (12:00-13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2026年12月9日(水) 17:50上映開始(17:30開場、20:50終了予定)

ナイジェリア映画上映会 マミワタ

監督・脚本: シー・ジェイ・“ファイアリー”・オバシ (C.J. “Fiery” Obasi)

製作: オゲ・オバシ (Oge Obasi)

撮影: リリス・ソアレス (Lilis Soares)

音楽: トウンデ・ジェゲデ (Tunde Jegede)

出演: エヴリーヌ・イリ (Evelyn Ily)、リタ・エドチエ (Rita Edochie)、
ウゾアマカ・アニウノ (Uzoamaka Aniunoh)

2023年/ナイジェリア、英国、フランス/107分/西アフリカピジン英語、
英語、フォン語/日本語字幕/原題 Mami Wata

受賞歴

サンダンス映画祭 (2023):

ワールド・シネマ・ドラマチック・スペシャル・ジュリー・アワード
(撮影賞: リリス・ソアレス)

FESPACO (ワガドゥグ全アフリカ映画祭 - 2023):

ポール・S・ヴィエイラ批評家賞 最優秀映像賞 (撮影賞)
最優秀美術賞 (セットデザイン賞)

アフリカ・ムービー・アカデミー賞 (AMAA - 2023):

最優秀ナイジェリア映画賞 最優秀撮影賞 最優秀メイクアップ賞

セプティムス賞 (2024):

最優秀実験映画賞

あらすじ

イイ村では、人々は人魚の神マミワタを崇拝し、神と村人たちを取り持つ司祭ママ・エフェ、そして司祭の娘ジンウェと、その弟子プリスカを頼りに暮らしている。ところが、ある時、子どもたちが次々と死にはじめ、村人のジャビは共同体そのものに疑念を投げかける。一方、司祭の娘ジンウェは自身の深い苦悩に突き動かされ、村から逃げ出してしまう。やがて抵抗軍の首領ジャスパーが現れ、状況は村人ジャビに有利な方向へと傾いていく。軍の新たな支配下に置かれた村で、司祭の弟子と娘は人々を救い、イイ村にマミワタの栄光を取り戻すため、密かに行動を起こすことになる。



本作について

ナイジェリア映画界の新たな可能性を示す本作は、色濃い肌と白い身体装飾、海の光と闇を際立たせる白黒映像で、2023年サンダンス映画祭の撮影部門審査員特別賞を受賞した。

題名の『マミワタ』は、西・中部アフリカからアフリカ系ディアスポラに広がる水の神格である。人魚や蛇を伴う女性として表されることが多く、癒やしや加護をもたらす一方、危険な力も秘める。その姿には、海を越えた交流を通じてヨーロッパやアジアの図像も取り込まれてきた。

本作が描く「伝統的」なアフリカも、固定した過去の再現ではない。監督は、植民地主義に規定されないアフリカの世界を想像し、信仰と権力、女性たちの選択をめぐる寓話を紡ぐ。緻密な映像美と音の響きに身を委ねながら、伝統と近代の対立を超えた共同体の未来を考えたい。

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課 (TUFs Cinema担当)

TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00 (12:00~13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

上映会の詳細はこちら

https://www.tufs.ac.jp/event/2026/261209_c01.html



上映後解説／トーク

中村 博一 (文教大学)

村津 蘭 (東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所)

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分 (JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車